

『明るい社会を築くために』

多久市立東原産舎中央校 7年 ^{すぎはら}杉原 ^{ゆり}由莉

「日本は、平和で安全な国だ。明るい社会も築けている」そう言いたいところですが、犯罪や非行が、一定数存在することは否定できません。新聞やテレビのニュースでも、殺人、誘拐、詐欺、といった犯罪に関わる情報が毎日必ずと言っていいほど流れてきます。私の身近なところでも、犯罪はあります。例えば、地域で不審者が出たとの情報がひんぱんにあったり、最近では、市にきょうはくメールが届いて集団下校をした、ということもありました。もっと身近なところ、学校生活の中でも、犯罪が存在します。「いじめ」です。私は「いじめ」は、単なるトラブルではなく、犯罪行為だと思っています。大人の世界でも、職場でのパワーハラスメントといったことも問題になっていますが、それも、人の心や体を傷つけるのであれば、それも、立派な犯罪だと思っています。また、最近特に深刻だと思うものは、ネット犯罪です。インターネットが広く普及しているこの時代、誰でも簡単に情報を流すことができます。それを悪用した犯罪がひんぱんに起こっています。ネットの怖いところは、知らない人に自分の個人情報が出てしまう可能性があるというところです。みんながスマホを持ち、ネットを扱える今、誰でも知らないうちに犯罪に巻き込まれる可能性があります。また、被害を受けるだけでなく、加害者になってしまう場合もあります。ネットの扱い方を理解していない子供が、誤って個人情報を流してしまったり、面白半分で見

えない相手に暴言を吐き、そのまま訴えられてしまうといったことなどです。私も SNS 系ゲームや TikTok などを見ているときに、個人情報特定されてしまうような投稿をしている人を見たことがあります。他にも、実際には見たわけではありませんが、子供が動画投稿サイトにあげた動画にその人が住んでいる地域のカレンダーが映っていて、そこから住所が特定されたり、とある有名人に対して暴言を吐き、結果その有名人は自殺してしまいその暴言を吐いた人たちが責任が問われるという事例が存在します。世の中の犯罪を全て無くすことは不可能だ。そんなことを言う人もいますが、無くすことはたしかに難しいかもしれませんが、減らすことはできるのではないかと私は思っています。なぜ、人は犯罪を起すのでしょうか。私は、人は誰でも、一般的に「悪」とされるような心を持っている、全く持たないことは無理だ、そんな人はいないと思っています。私にも、「あの人はいや。いなくなればいいのに」と思ってしまうことは、実際にあります。誰もが「悪」の心を持っていながら、それを行動に出すか出さないか、その差なのだと思います。では、行動に出してしまう、犯罪行為をしてしまう人たちは、なぜそうしてしまうのか。私は、やはりその人たちに、人とのつながりや社会とのつながりがうすいことが原因としてあると思います。犯罪行為をしてしまう人は多くは、生活の中で苦しさや困難を抱えながらも、それを助けてもらえるような人、支えてもらえるような人、相談できるような人がいない、つまり孤立状態にあると言われています。そして、一度犯罪行為をして

しまえば、その人は、刑罰を受けることとなります。中には、それによって更生する人もいれば、更生できずさらに孤立し、再び犯罪に手を染めてしまう人もいと聞きます。明るい社会を築くには、私は、人を受け入れてあげることが大切だと思います。社会には様々な人がいて、そのすべての人が、社会のどこかで受け入れられるような環境にすることが大切だと思います。そうすれば、一度犯罪行為をしてしまった人も、心を入れ替えて安心して社会に復帰しようという気持ちになるのではないかと思います。そして、この社会から犯罪が減っていくのではないかと思います。私も、そういう明るい社会を築き支えられるような人になりたいと思います。